

## 令和 7 年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和 8 年 2 月 2 0 日 (金)
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) (五十音順) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) 仲里 豪(弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝(元沖縄県経営者協会常務理事)

## I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和 7 年 1 0 月 1 日 ~ 令和 7 年 1 2 月 3 1 日	
審議対象件数	6 9 件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	8 件	(審議概要)
建設工事	一般競争	4 件
	指名競争	なし
	随意契約	1 件
建設コンサルタント業務等	3 件	
	意見・質問	回答
	<b>【建設工事】</b> <b>一般競争入札方式</b> ・陸自那覇(7) 宿舎法面整備 土木工事  ○ 法面整備工事の割に契約金額が高額となっているため、 工事内容を確認したい。  ○ 入札の経緯として、無効が 多い理由を確認したい。  ○ 入札参加者の入札金額が拮 抗しているが、その理由を確	○ 本件は、既存の宿舎の駐車場の 場所に新設宿舎を建てる計画 であり、新設宿舎の工事中、居 住者の生活道路を塞ぐことにな ることから、迂回路として斜面 を掘削し、道路を拡幅する工事 である。  ○ 入札無効の理由としては、入 札無効となった 4 者全てが調査 基準価格を下回って入札したた め、施工体制の確認対象とな り、追加資料の提出を辞退した ことから、入札を無効としたも のである。  ○ 本工事は一般的な工事で積算 体系も確立されており、現場状

認したい。

#### 一般競争入札方式

- ・シュワブ（R7）造成工事（1工区）

○ かなり高額な契約金額となっているが、予定価格の算出方法を確認したい。

○ 別契約の2工区も含め、それぞれJVでの参加で、かつ1者応札になった理由を確認したい。

#### 一般競争入札方式

- ・与座岳（7）局舎電気設備更新等電気その他工事

○ 沖縄本島内において、本工事は電気設備としては高額工事であると思われるが、1者応札で3回入札に至った経緯を確認したい。

#### 一般競争入札方式

- ・沖縄訓練場（7）伐採工事（その5）

○ 伐採工事の割には契約金額が高額となっているが、工事内容を確認したい。

○ 入札参加者が多い理由を確認したい。

況も比較的単純な方であるため、各社とも見積もりの精度が高かったものと思われる。

○ 本件は辺野古の埋立用土砂を海上運搬するための工事用船舶を多数使う工事であり、工事用船舶の費用と、海上フロートや汚濁防止膜の保守点検・維持管理が含まれていることから高額となっている。

○ 応札者が1者になった要因として、前述したように多数の工事用船舶を使用する工事であり、全国的に工事用船舶の需要が高い中で、新規参入者にとっては船舶の確保の難しさも要因と考えられる。

○ 本件は与座岳分屯基地レーダー局舎の電気設備の老朽更新工事であるが、4カ年国債と工期が長く技術者の専任配置が難しかったことが1者応札の要因と思われる。

3回入札の経緯は、1回目、2回目共に予定価格を超過したことから、入札参加者に3回目の入札について意向を確認し、3回目の入札を実施したところ入札価格が予定価格を下回ったため、落札となったものである。

○ 本件は陸上自衛隊沖縄訓練場における森林を切り開いて補給処を作るための工事である。

工事内容としては約4.2haの森を切り開く伐採・抜根、濁水対策等となっている。

○ 多数の参加があった要因は、工種が少なく、比較的難易度の高くない工事内容であったこと

や、今後発注される土木工事受注のために、各社の受注意欲が高かったものと思われる。

#### 随意契約方式

・久米島（7）局舎等新設建築  
その他追加工事

○ 随意契約をした経緯について確認したい。

○ 金額的には比較的小規模工事に関わらず、複数の企業からなるJVが受注した理由を確認したい。

#### 【建設コンサルタント業務】

##### 一般競争入札方式

・瑞慶覧（R7）下士官宿舎等新設土質調査

○ 入札参加者が多い理由と、県外の企業にも係わらず、低入札価格で入札した理由を確認したい。

##### 一般競争入札方式

・与座岳外（7）施設最適化総合設計

○ 最適化とはどのような内容か。

○ 複数社で構成されるJVが

○ 本件は久米島分屯基地に局舎と変電所を作る工事であるが、予算の都合上、令和6年度の発注（以下、前工事という。）では局舎の屋上部分を発注することが出来ず、構造物の耐久性の確保や責任分界点などの関係から、前工事の業者と追加工事として随意契約したものである。

○ 今回は前工事の業者と随意契約したことから、同じく複数企業であるJV企業と契約することとなった。  
前工事の規模も含めて考えると技術やノウハウを持っている県外の中堅ゼネコンと沖縄本島の大手ゼネコン、久米島地場のゼネコンで構成され、バランスのよいJVだと思われる。

○ 本件はキャンプ瑞慶覧内で多数の土質調査を行う業務であるが、当局発注としては比較的金額が大きいことと、場所が集約されていて一カ所で集中的に土質調査を実施する業務内容になっていることから県外を含め多数の業者が参加し競争性が働いたものと思われる。

○ 最適化とは、建設年代等に基づき、建替や改修工事なども行いながら、建物の再配置や集約化等を計画的に実施していくものである。本業務は、マスタープランに基づき、基本設計、実施設計を行う業務である。

○ 最適化事業は、建物の再配置

	<p>応札した妥当性を確認したい。</p> <p>○ 事業名の「外」とは。</p> <p><b>公募型プロポーザル方式</b> ・北大東島（7）宿舎新設環境調査</p> <p>○ 交通の便の悪い離島で、特に高額でもない事業に4社も応募している理由を確認したい。</p> <p>○ プロポーザル方式の項目で北大東島に特化した項目はあるのか。</p>	<p>や集約化等を計画的に実施していくものであることから建築・土木・設備の総合設計として発注している。応募のあったJVも建築・土木・設備の各専門のコンサルタントによるJVとなっている。</p> <p>○ 本件の設計業務は、メインの与座岳以外に宮古島と久米島が含まれていることから、複数の地点・場所が含まれていることを表して、与座岳「外」と業務名称をつけている。</p> <p>○ 本件は北大東島に整備する基地の隊員用宿舎建設予定地の環境を調査するものである。 調査は島の固有種の生息・分布などを調査するものであるが基本的に1年間の四季の変化を捉えていく調査であり、常駐する必要は無く、また今後もモニタリング調査が継続されることを見越して、参加意欲が高かったと思われる。</p> <p>○ 固有種以外に、北大東島の特色として考えられる「飛来塩分の予測・分析方法」をテーマとして設定している。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について

<p>談 合 疑 義 件 数</p>		<p>0 件</p>	<p>(審議概要)</p>
<p>工 事</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>業 務</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>		<p>意 見 ・ 質 問</p>	<p>回 答</p>
		<p>なし</p>	<p>なし</p>

委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			
3. 入札結果の事後的・分析結果について				
審議概要	なし			
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回答	
	なし		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			
4. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数（再説明請求件数）	総件数	0 件	(備考)	
建設工事	一般競争（政府調達協定対象外）	0 件		
	指名競争	0 件		
	随意契約	0 件		
建設コンサルタント業務等※		0 件		
再苦情申立概要（再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等
	なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
	なし		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			

\* 建設コンサルタント業務等の再苦情処理については、公募型プロポーザル契約及び簡易公募型プロポーザル契約方式を除く。

## 令和7年度 入札監視委員会議事概要（航空自衛隊）

開催日及び場所	令和8年2月20日（金） 沖縄防衛局 4階 講堂
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) （五十音順） 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) 仲里 豪(弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝(元（一社）沖縄県経営者協会常務理事)

## I 航空自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
審議対象件数	46件		
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽出件数	4件	（審議概要） ・ 対象期間における契約状況、指名停止状況、低入札価格調査及び落札者決定の経緯等について説明。	
建設工事	一般競争		3件
	指名競争		なし
	随意契約		1件
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ●それに対する回答等	<b>【建設工事】</b> <b>一般競争入札方式</b> ・（6）格納庫他照明改修工事  ○ 入札参加業者数が14社と多かったが、比較的高い落札率となった経緯を確認したい。  ○ 最低入札価格と最も高い入札金額はかなり価格に差があるが、どのような理由か。	● 本件は、那覇基地内の格納庫及び関連施設に設置している照明器具をLED照明器具へ更新する工事である。 予定価格の算定にあたっては「公共建築工事標準単価積算基準」などを適用し算出しているが、当該積算基準は、対外的に公表されていることから、入札参加業者が、予定価格に近い金額を算出することは可能であることと、一部、業者見積の比較により、最も安価な市場価格を予定価格として採用しているため、結果として高落札率になったものと考えられる。  ● 推測ではあるが、照明器具の仕入れ価格や人件費の影響で大きな差が生じていると思われる。	

#### 一般競争入札方式

・体育館及び車両整備工場建具等更新工事

○ 建具更新工事であれば、建具本体の価格に影響されると思われるが、その上で、低い落札率になった経緯を確認したい。

○ 入札参加者のうち、最も高い入札金額と比較すると、落札した金額が3分の1程度となっているが、建具の品質に問題はなかったか。

#### 一般競争入札方式

・体育館空調機ACP-2更新工事（恩納）

○ 空調機の更新工事であれば機器自体が高価なものと思われるが、その上で、低い落札率になった経緯を確認したい。

#### 随意契約方式

・富貴宿舎206号室浴室補修工事（沖永良部）

○ 離島沖永良部島の案件ということもあり、沖永良部島の

● 本件は、恩納分屯基地の体育館のスチール製扉及び車両整備工場のアルミ製扉の老朽化に伴う更新工事である。

予定価格の算定にあたっては「公共建築工事標準単価積算基準」などを適用し算出しており主に建具設置に係る人件費及び材料費については、複数業者から徴取した参考見積の比較により、最も安価な価格を市場価格として計上した。

入札金額の内訳と予定価格の内訳を比較検証したところ、人件費及び材料費については、落札業者が、市場価格を下回る価格で積算したことと、諸経費についても低く抑えられたため、結果として低い落札率になったものと考えている。

● 建具の品質については、仕様書で明記しているとともに、工事完了後の完成検査においても建具の機能性能について検査を実施しており、現在、建具の異常の報告は受けていないため、問題ないものと考えている。

● 本件は、恩納分屯基地の体育館に設置している空調機の老朽化に伴う更新工事である。

予定価格の算定にあたっては「公共建築工事標準単価積算基準」などを適用し算出した。

入札金額の内訳と予定価格を比較検証したところ、落札業者が計上した諸経費が低く抑えられたため、結果としてこのような低い落札率になったものと考えている。

● (1) 離島の建設業の状況について

	<p>建設業の状況と、低い落札率となった経緯を確認したい。</p> <p>○ 各標準単価は、離島にも対応されているのか。</p>	<p>離島（沖永良部島）の状況は官公庁の入札参加資格を有している企業は25社あり、軽微な工事に関しては島内の企業で履行可能な状況である。</p> <p>(2) 低落札の経緯について      予定価格の算定にあたっては「公共建築工事標準単価積算基準」などの公表値を適用し算出した。      入札金額の内訳と予定価格を比較検討したところ、落札業者が計上した諸経費が低く抑えられたため、結果としてこのような低い落札率になったものと考ええる。</p> <p>● 離島には対応されていない。沖永良部島の場合は、鹿児島県の標準単価を採用している。</p>
--	--	---

## II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関		航空自衛隊		
審議対象期間		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
審議対象件数		417件		
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、落札者決定の経緯等について）				
抽出件数		3件 (審議概要)		
地方調達等	一般競争	・調達の概要、競争参加資格の設定等について説明		
	指名競争			なし
	随意契約			なし
		意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ●それに対する回答等		<p>一般競争入札方式          ・胃がん検診570人</p> <p>○ 胃がん検診において、低い落札率になっているが、検診結果の信頼性が確保されるか確認したい。</p>	<p>●(1) 低落札の経緯について          予定価格の算定にあたっては複数の業者から市場調査を実施し、その中から最低価格を予定価格として採用した。予定価格算定時においては、物価上昇分を見込んでの単価の設定であったが、入札時においては、前年度の見積単価とほぼ同額で応札されたため、その単価差が落札率に反映されたものである。</p>	

**一般競争入札方式**

・LED照明器具50本以下4品目（与座岳）

- LED照明器具以外の内容を確認したいのと、低い落札率になった経緯を確認したい。

**一般競争入札方式**

・衣類乾燥機1台以下4品目（宮古島）

- 離島宮古島への納品と思われるが、それでいて、低い落札率になった経緯を確認した

(2) 検査の信頼性について

契約相手方は、昭和38年に那覇市で開業し、昭和45年より検診車による巡回検診を行い、官公庁、民間企業、地域住民に対して年間約26,000件の巡回検診を行っており、令和5年度についても、同様の契約を締結している。

実績面の観点からは、豊富な経験と知識を有しているものと評価しており、契約手続きの観点からは、契約書に履行内容に疑義が生じた場合の措置や、損害賠償請求権について規定し、検診結果の信頼性を担保している。

なお、令和5年度と令和6年度の当該検診については、検診方法及び検診結果に関する疑義等は、確認されていない。

- (1) LED照明器具以外の物品  
契約内容は、3種類のLED照明器具と片反射笠アダプタの4品目の購入である。

(2) 低落札の経緯について

予定価格の算定にあたっては、複数の業者に対し市場価格調査を実施し、回答を得ることができた価格の中から、最も安価な価格を市場調査価格として予定価格に計上した。

落札業者にヒアリングを実施したところ、当該業者は、卸売販売を生業としており、当該物品を仕入先から特別価格で仕入れることができたことと、官公庁の契約実績は、銀行から信用度が高まるなど経営上のメリットもあるため、売上げを抑えてでも受注したいとの経営戦略もあり、このような落札額となったとのことであった。

- 本件は、衣類乾燥機のほか3種類の空気清浄機を調達するものであり、その規格については他社製品を含む同等品での応札

い。

も可能とするものであった。

予定価格の算定にあたっては官が示した参考提示品について市場調査を行い算定したが、落札業者が同等品として選定した製品の単価がそれを下回る価格であったため、このような低い落札率となった。

なお、他社製品の同等品で応札する場合は、入札前に官に対し同等品であることの承認を得なければならないこととしている。